PRESS　RELEASE

令和８年２月２５日
取手市　政策推進部　魅力とりで発信課

# 「こども版広報とりで」発行

市の魅力を発信するために協力してくれた「こども特派員」が紙面で大活躍！

市は、こどもたちなどを対象に、市の魅力を発信する「こども版広報とりで」を発行します。紙面には、この活動に協力するために自ら応募してくれた市内小・中学生の皆さんが「こども特派員」となって、工場やアートイベントなどの現場体験取材を行い、市内の魅力を発見していく様子や、市内で活躍するイラストレーターによる取手市ならではの漫画などを掲載しています！

■こども版広報とりで

こども版広報とりでは、主に市報「広報とりで」を読む習慣が少ないこどもたちなどを対象に、情報収集の重要性の意識向上や、地元への興味関心を高めるとともに、郷土愛の醸成を図るために発行します。

同紙は、市政情報をお届けするために発行する広報とりでとは性質が異なるもので、市内の魅力を発見・発信していく発行物です。

■発行概要

・発行日…２月２６日（木）
・ページ…Ａ４版８ページ
・発行方法…①デジタル配信

市内小・中学生は一人一人にタブレットが配布されている利点を生かし、デジタル配信を行います。高校生や市内外の方には、市ホームページやＳＮＳなどを通じて配信します。

②紙媒体

１０，０００部を発行し、広報とりでを配置している市内の公共施設や郵便局、駅、スーパーやコンビニエンスストア、病院などに配置します。

■紙面の構成

・Ｐ１･･･表紙写真
　→こども特派員が活躍する写真を複数枚掲載しています。
・Ｐ２・３…【工場編】取手市内には魅力あるスポットがたくさん！
　→小学生こども特派員が日本ファブテック株式会社取手工場を現場体験取材しました。
・Ｐ４・５･･･【アート編】取手市内には魅力あるスポットがたくさん！
　→中学生こども特派員がアートイベントなどを現場体験取材しました。

・Ｐ６･･･こども特派員として活躍するまで
　→こども特派員が活躍するまでの裏側を写真などでご紹介します。
・Ｐ６･･･こども特派員が選ぶ市内のおすすめスポット！
　→こども特派員の皆さんに市内のおすすめスポットを教えていただきました！
・Ｐ７･･･【編集後記】こども特派員の活動を終えて感じたこと
　→こども特派員の活動を終えて感じたことを、こどもたち自身の言葉で伝えています。
・Ｐ８･･･魅力発信とりかメカ！！！
　→市内で活躍するイラストレーターにご協力いただき、漫画を書いていただきました。
・Ｐ８･･･中・高校生が活躍しています！ひとつ空の下で（ＵＮＳＡＭ）
　→取手市を拠点に活動する中・高校生のボランティア団体をご紹介します。

■こども特派員

市内在学の小・中学生を対象として「こども特派員」を募集しました。「こども特派員」には、取材を通じて取手市の魅力を発見することで、地元への興味関心を高めてもらい、併せて「広報とりで」などを通じた情報収集の重要性を認識していただくことを目的としています。

・こども特派員（全５名）※学年は令和８年３月末時点
　・小学生こども特派員…５年生：１名、６年生：２名
　・中学生こども特派員…１年生：２名

■こども特派員の主な活動

（１）企画会議

現場体験取材を行う前に、こどもたちとその保護者への事業の概要説明や、現役の新聞記者から取材のこつを学ぶ会議を行いました。

（２）現場体験取材

こども特派員が現役の新聞記者から学んだ取材のこつを応用し、取材に挑戦しました！

（３）編集後記（取材後の感想文）の提出

現場体験取材を終えたこども特派員自身の感想文を、編集後記としてそれぞれ提出していただきました。


| | |
|---|---|
| 問い合わせ先 | 取手市　政策推進部　魅力とりで発信課　広報係<br>担当者：土田、永井<br>電話：0297-74-2141（内線 1193）<br>E-mail：miryoku@city.toride.ibaraki.jp |

令和8年2月発行

# こども版広報とりで

目　次


【工場編】取手市内には魅力あるスポットがたくさん！……P2・3
【アート編】取手市内には魅力あるスポットがたくさん！…P4・5
こども特派員として活躍するまで ……P6
こども特派員が選ぶ市内のおすすめスポット！ ……P6
【編集後記】こども特派員の活動を終えて感じたこと ……P7
魅力発信とりかメカ！！！ ……P8
中・高校生が活躍しています！ひとつ空の下で(UNSAM) …P8


こども版広報とりでは、取手市の魅力を発信し、地域への関心を持ってもらうきっかけづくりとするため、発行します。

この企画に協力したいと自分で応募してくれた市内小・中学生こども特派員の皆さんが、紙面のさまざまな場所に登場します！


発行 / 取手市 編集 / 魅力とりで発信課
〒 302-8585 茨城県取手市寺田 5139
TEL 0297-74-2141 内線 1193　FAX 73-5995
ホームページ
https://www.city.toride.ibaraki.jp/
E-mail　miryoku@city.toride.ibaraki.jp


※2月3日時点の情報を基に編集しています。

本紙は、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

## 工場編

# 取手市内には魅力あるスポットがたくさん！

取手市の魅力あるスポットを皆さんに発信するため、こども特派員が現場体験取材を行いました。
小学生こども特派員は、会社の工場を取材します。

**撮影協力者：** 日本ファブテック株式会社 取手工場の社員の皆さん

わたしたちは
日本ファブテック株式会社
取手工場を取材します！

小学生こども特派員（左から）
川崎颯佑さん、若林桜菜さん、長塚琥太郎さん

## 取材場所

### 日本ファブテック株式会社 取手工場
**（住所：下高井1020番地）**

取手市のここ！

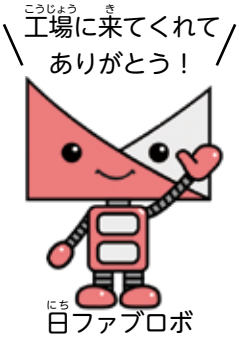
日本ファブテックは、金属加工や溶接技術で100年以上の歴史を持つ会社です。超高層オフィスビルなどのビルの骨組みや、川を渡る橋や高速道路の一部を作っています。横浜ランドマークタワーやレインボーブリッジなども作りました。

まずは、この会社はどんな仕事をしているのか、お話を聞きました。
日本ファブテックは、敷地面積が約15万平方メートルで、東京ドームが3個入るとても大きい工場です。この会社は川を渡る橋や高速道路の一部を5,000件以上、建築物は3,000件以上のものを作ってきました。小学生こども特派員は、真剣なまなざしで配布された資料にメモを取りました。

歴史があって信頼されている会社なんだね！

続いて、工場の製造ラインを見学します！

いろいろな機械があって大型車なども通るため、工場内は常に身の周りの安全確認が重要です。交差する場所や横断歩道を渡る時は、必ず左右を指差呼称で安全確認してから移動します。

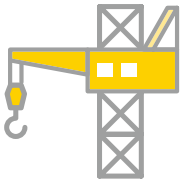


工場の建物は、天井が高く奥行きがあって大迫力！橋や鉄骨のパーツを運ぶクレーンや、鉄を曲げたり伸ばしたりする機械などを案内してもらいました。

たくさんの機械で、さまざまな大きさのパーツを作っていきます。

工場内のクレーンは、全部で60台です。フックでひっかけて持ち上げるものや強力な磁石で鉄板をくっつけてつり上げるものがあります。重い鉄をつり上げて運ぶ巨大なクレーンの迫力にみんなびっくり！

鉄を数千度の高温で溶かした状態にして、鉄同士をつなげる「溶接」で大きなものを作っていきます。工場では溶接ロボットが大活躍。でも、複雑な形の溶接は人が担当します。



建物の外に出ると、これから道路にかかる予定の大きな橋がありました。ここでは、建物の中で作ったパーツを実際に組み立て、安全性などを確認していきます。

組み立てには大きなクレーンが必要で、最大50トン(5万キログラム)までつり上げることができるクレーンがあります。

取材の最後は、VRゴーグルをつけて、橋ができるまでの様子を見る体験をしました。

## アート編

# 取手市内には魅力あるスポットがたくさん！

取手市の魅力あるスポットを皆さんに発信するため、こども特派員が現場体験取材を行いました。
中学生こども特派員は、アートイベントを取材します。

**撮影協力者：** 東京藝術大学取手校地・大学美術館取手館の皆さん
同校在学の現役アーティストの皆さん
取手アートプロジェクト（TAP）の皆さん

わたしたちは
「藝大取手コレクション展2025」
と「取手藝祭2025」を
取材します！

中学生こども特派員（左から）
豊島ゆずさん、鎌田心春さん

## 取材場所

取手収蔵棟（東京藝術大学取手校地内）

たいけん美じゅつ場VIVA

- **東京藝術大学取手校地**
  **（住所：小文間5000番地）**
- **たいけん美じゅつ場VIVA**
  **（住所：中央町2-5 アトレ取手4階）**

東京藝術大学（以下、「藝大」という）取手校地は、主に美術学部の教育・研究活動が行われ、創造的な学びの場としてアート制作や展示が活発に行われています。たいけん美じゅつ場VIVA（以下、「VIVA」という）は取手市、藝大、JR東日本、株式会社アトレが設立したアートによる交流の場です。

中学生こども特派員がアートを身近に感じられるように、藝大取手校地の現役アーティストが一緒に取材してくれました。

まずは、大学美術館取手館内の藝大取手コレクション展2025の取材です。この企画は、大学美術館取手館が開館してから30周年になることや、新しい建物「取手収蔵棟」が完成したことを記念した特別な展覧会です。

**取手収蔵棟**

数多くの芸術作品を、きれいに保管し、作品を守りながら公開するための建物です。温度や湿度を維持するため、出入り口や窓などを限りなく減らしています。

中学生こども特派員は、藝大卒業生の作品や明治時代のデッサン用の石膏像などをじっくり鑑賞。芸術性があふれる世界観に没頭していました。

作品の躍動感や繊細さなど、それぞれが感じたことを話し合い、アート鑑賞を楽しみました。

次は、取手藝祭2025の取材です。取手藝祭は、藝大取手校地で学ぶアーティストたちの個性あふれる作品を直接鑑賞・体験できるお祭りです。実際に作品を制作しているところを見学したり、作ったものを鑑賞したりすることができます。

同行した現役アーティストも作品を展示していて、中学生こども特派員にとってはアート作品の作者から、作品への思いを直接聞くことができる貴重な機会となりました。

続いて、取手藝祭2025の第二会場となるVIVAに移動します。VIVAはアート鑑賞を含めた、いろいろな過ごし方ができる取手駅直結の施設です。ここでは、藝大卒業生の作品や歴代の取手市長賞受賞作品などが展示されていて、見上げるほど大きな作品もありました。

取材の最後は、取手駅西口ペデストリアンデッキ上のアート時計塔「共生の樹」とベンチに設置された、令和5年度取手市長賞受賞作品のブロンズ像「よりどころ」を見学。市内には、いろいろな場所にアートスポットがあることを学びました。

**取手アートマップ**

市内に数多くある芸術作品を知って、見て、楽しめるアートマップです。

# こども特派員として活躍するまで

紙面に登場したこども特派員は、市の魅力を発見・発信するために企画会議を行い、現役の新聞記者から取材のこつを学んだうえで活動しました。こども特派員として活躍するまでの裏側を写真でご紹介します。

こども特派員
頑張ります!

任命書授与

企画会議

こども特派員の皆さんに取材のこつを伝授！

茨城新聞社　斉藤記者

企画会議

こども特派員

企画会議で授与されたバッジを付けて取材しました!

## こども特派員が選ぶ 市内のおすすめスポット

こども特派員の皆さんに市内のおすすめスポットを教えてもらいました！

### ゆめみ野公園

みんなが楽しく過ごせる！

### 北浦川緑地

緑が多くてたくさん遊べる！

取手市のここ!

### 取手緑地運動公園

自然豊かで空が透き通ってる！

### 桜が丘自治会館

(開館:月～土曜日の9:00 ～ 17:00)

読みたい本がたくさんある！

# 編集後記 こども特派員の活動を終えて感じたこと

## 小学生こども特派員

川崎颯佑さん

この経験を生かして、取手市の魅力をもっと探してみんなに伝えたいです。日本ファブテックの工場を知ったことで、もっと取手を知りたいと思いました。

また、こども特派員の仲間とのチームワークの大切さも学びました。緊張していたけれど、取材で楽しく話せたので、これからも仲間と協力することを大事にしたいです。

長塚琥太郎さん

私は、小学校の広報委員会に入っています。今回の取材の経験を生かして、小学校の皆さんに分かりやすく伝えていきたいと感じました。

日本ファブテックの工場にはクレーンが60台もあります。クレーンで橋の部品や鉄をつり上げて運んでいて、そのうちの3台は、磁石の磁力で鉄板を運んでいることに驚きました。

若林桜菜さん

この活動で楽しかったのは、質問しながら日本ファブテックの皆さんからいろいろな仕事の内容を聞けたことです。

日本ファブテックにはクレーンが60台もあることや、たくさんの橋作りに関わっていることにびっくりしました。これからは、橋を渡る時に上や下の構造をよく見てみたいです。家族や友だちにもこの経験を伝えたいです！

## 中学生こども特派員

鎌田心春さん

芸術は作者の個性や世界観を自由に表現するものだと感じました。

藝大取手校地の方が身近なものや高価なものを使い、全力で表現する姿が印象的でした。取材は質問や記録をすることが大切で、取材相手への感謝を忘れないことを学びました。作品の説明を聞くと見方が変わり、100年前の作品が残っていることや、現代の自由な表現が面白いと感じました。

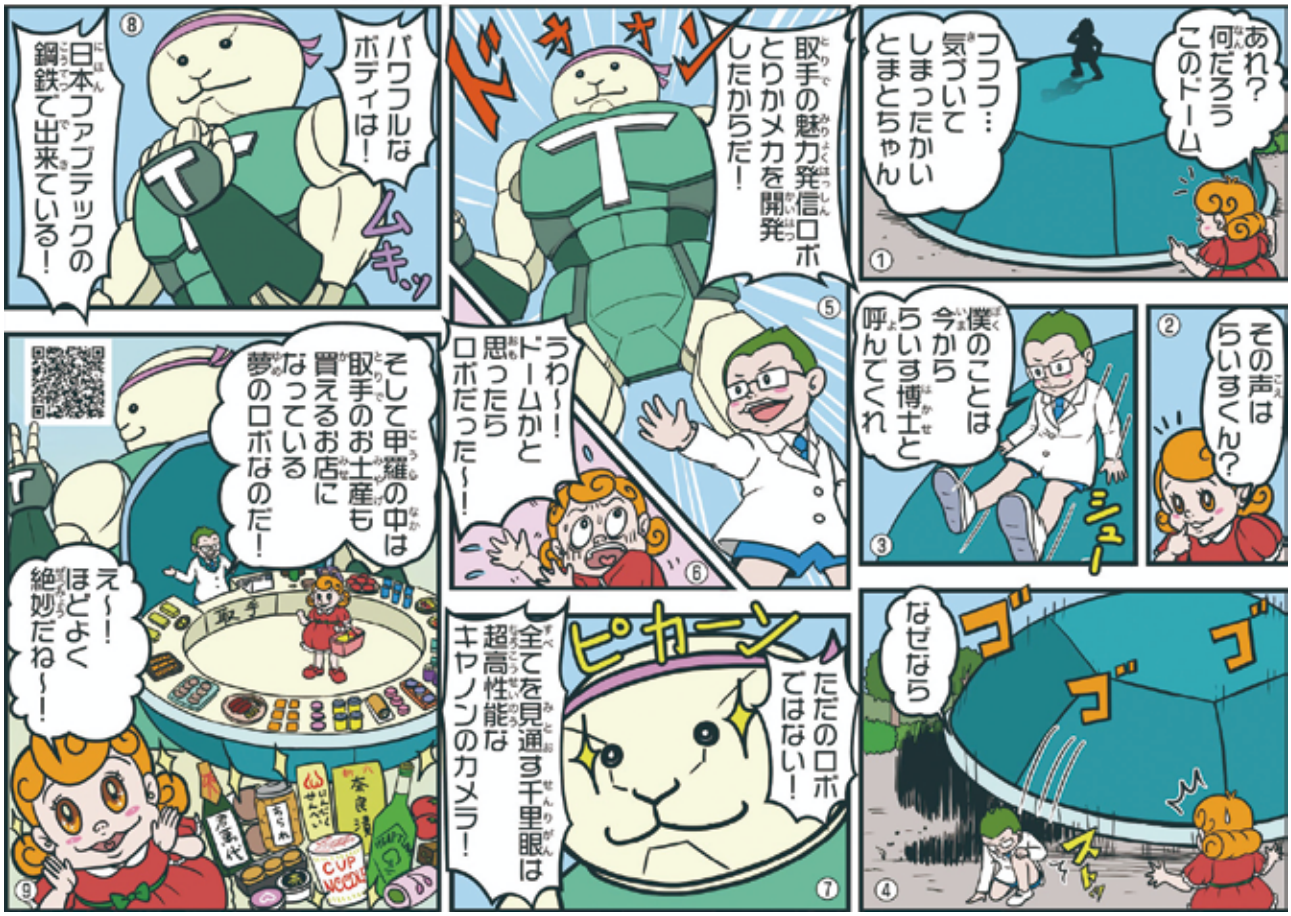
豊島ゆずさん

私は、中学生こども特派員として取手市の魅力を伝える活動をする中で、藝大取手校地の作品を見学しました。

作品は、絵画だけでなく立体作品もあることを知り、驚きました。特に、テントウムシ型のサーカステントの模型が印象的でした。段ボールなどの素材で作られている工夫に感動しました。取手藝祭は、取手市の魅力の一つだと思います。

## 魅力発信とりかメカ！！！

作：俣嶋みき




## 中・高校生が活躍しています！ひとつ空の下で（UNSAM）

### UNSAMとは

取手市を拠点に活動する中・高校生のボランティア団体。会員数は40人程度（令和7年11月末時点。毎年度更新）です。他市町村の中・高校生やUNSAMの卒業生なども一緒に活動しています。

### こどもたちが自分で決めて活動

「平和活動」「こども食堂支援」など、こどもたちが自分で決めて活動します。ボランティア活動の負担金はありません。UNSAMの活動に協力する企業から、社会福祉協議会などを通じた依頼があり、こどもたちの活動の中で財源を確保し、ボランティア活動につなげています。

たいけん美じゅつ場VIVAでの活動

**活動日**

毎月第2・4月・木曜日の16:00～18:00

※不定期でイベント活動など

活動に興味がある方は、以下の機関にご相談ください。

- UNSAM事務局…samotaki@yahoo.co.jp
- 取手市社会福祉協議会…☎ 72-0603

発行 / 取手市 編集 / 魅力とりで発信課
〒 302-8585 茨城県取手市寺田 5139
TEL 0297-74-2141 内線 1193 FAX 73-5995
ホームページ
https://www.city.toride.ibaraki.jp/
E-mail miryoku@city.toride.ibaraki.jp